

## 検査科からの情報により早期発見につながった Hairy cell leukemia

◎川井 孝太<sup>1)</sup>、奥村 涯<sup>1)</sup>、上村 のり子<sup>1)</sup>、清水 憲雄<sup>1)</sup>  
磐田市立総合病院<sup>1)</sup>

【はじめに】Hairy cell leukemia(以下 HCL)は、有毛様突起を持つ細胞であるヘアリー細胞が骨髄や脾臓を中心に増殖する低悪性度成熟 B 細胞腫瘍でリンパ球性白血病の 2%と稀な疾患である。今回、血液内科医師と連携して早期発見につながった HCL 症例を経験したので報告する。【症例】50 歳代、女性。ぶどう膜炎、Vogt-小柳-原田病疑いにてステロイドパルス療法施行目的で当院眼科に紹介になった。

【血液】WBC : 11500/ $\mu$ L、Hb : 12.8g/dl、Ht : 40.8%、PLT :  $24.6 \times 10^4$ / $\mu$ L。測定機コメント : Aty\_Lympho(異型リンパ球)、Bla\_Abn\_Ly(異常リンパ球)、異常スキッタグラム、M-Diff(冷風乾燥標本) : St:0.0%、Seg:39.0%、Eo:0.0%、Mo:0.0%、Ly:46.0%、other(目玉焼き様):14.0%、M-DIFF(自然乾燥標本):有毛様突起を持つリンパ球。【血清】TP : 8.0g/dl、ALB : 5.0g/dl、LDH : 210U/L、Fe : 73g/dl、UIBC : 316 $\mu$ g/dl、フェリチン : 36ng/mL、IgG : 1110mg/dl、IgA : 110mg/dl、IgM : 44mg/dl。【染色体(骨髄)】核型:46, XX[20]。【FCM(骨髄)】CD19、CD20、CD11c、CD22、cyCD79a、CD38、CD103 陽性、CD25、CD123、cyclinD1 陰

性。κ/λ 差異あり。【骨髄像】正形成像。骨髄球系優位。小型で N/C 比 80%以上。細胞質に角状突起、有毛様突起を有するリンパ球系細胞が認められた。【画像診断(CT)】脾腫は軽度、肝腫大なし。リンパ節腫大なし。【経過】健診などで白血球増多の指摘歴があり、骨髄検査を実施し HCL 確定診断となった。汎血球減少は認められず有毛様突起を有する細胞は少数であり、自覚症状も無いため経過観察となった。【考察】今回、眼科受診された患者にて軽度 WBC 増加と異常スキッタグラムおよび末梢血液像所見により異常を認めたため血液内科医師に介入を依頼した。その結果、細胞形態や白血球動態などが判断しにくくなるステロイドパルス療法施行前に骨髄検査などが施行できた。HCL は稀な疾患であるが、疾患の早期発見には、検査結果を報告するだけでなく異常所見を含めた付加価値のある検査結果情報を臨床側へ提供するとともに診断・治療について臨床医と連携することが重要であると考えられる。  
磐田市立総合病院 0538-38-5000(内線:2703)